

令和5年6月吉日

報道各位

一般社団法人日本自動車車体補修協会
代表理事 吉野一

JARWAは「ボッシュカーヒストリーレポート (BCHR)」の 社会実装に着手します

EDRのデータを活用することで正確かつ公正で効率的な車両評価を可能にする
ボッシュが公開した世界初の新技術「ボッシュカーヒストリーレポート BCHR」

一般社団法人日本自動車車体補修協会（代表理事：吉野一 以下 JARWA）は正会員のボッシュ株式会社（代表取締役社長：クラウド・メーダー 以下 ボッシュ）が2023年6月12日に公開^{*1}した「EDRのデータを活用することで正確で効率的な車両評価を可能にする世界初の新技術、ボッシュカーヒストリーレポート Bosch Car History Report（以下 BCHR）」の社会実装に着手します。

ボッシュの「BCHR」とは、車両のEDR（イベントデータレコーダー^{*2}）に記録されているデータを解析し、過去の事故などによる車体への衝突履歴（イベント）の有無、及びイベント有の場合の衝撃の大きさや入力角度などを視覚的に分かりやすく表示する衝突履歴の診断レポートです。

現在の中古車流通では人の目による車両評価が一般的ですが、ボッシュは「BCHR」の公開にあたり、ADASシステムを備えた車両や高電圧部位を持つEV車両の品質において重要となる車両骨格のダメージを「BCHR」で数値化・見える化することで「より正確かつ公正で効率的な車両評価を実現する」と表明しています。

JARWAはボッシュが公開した「BCHR」の社会的意義に鑑み、その早期普及に向け、JARWA内に設置した「EDRデータ利活用WG^{*2}」に所属の専門資格認定者^{*3}がボッシュのEDRデータ読出しツール「クラッシュデータリトリバル（以下 CDR^{*4}）」を用いて、対象車両の「EDRデータの読み出しからBCHRの発行までの一連の作業を車両の所有者より請け負うサービス」の提供を開始します。

現在JARWAでは「BCHR」の周知を目的に、JARWA正会員である株式会社ユー・エス・エスのご好意のもと東京会場の一角をお借りして、開催日（木曜日）に来場した中古車買取販売事業者を対象向けに、希望する車両（会場内の所有権を有している車両に限る）の「BCHR（ボッシュカーヒストリーレポート）」を無料で提供するオープニングイベントを期間限定で開催しています。

- ※1 ボッシュプレスリリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000014.000053190.html>
- ※2 エアバッグ等が作動するような事故において、事故前後の車両の運動データや運転者の操作等を記録する車載記録装置（エアバッグが作動していなくても一定以上の衝撃を受けた場合は記録が残ります）
- ※3 2021年8月に設置した「EDRデータ利活用WG」
- ※4 ボッシュによる資格認定者「CDRアナリスト」「CDRテクニシャン」
- ※5 EDRの記録を読み出すための機器

● 「BCHR（ボッシュカーヒストリーレポート）」で主にわかる事

- ①骨格部分への衝突履歴（イベント）の有無とその衝撃の大きさや入力角度
- ②エアバッグ展開の有無
- ③エアバッグコンピュータ（ACM）の交換履歴の有無
- ④イベント記録超過

以上

一般社団法人 日本自動車車体補修協会 担当事務局 飯塚 東京都千代田区神田佐久間町4-6 齋田ビル5F TEL)03-5829-4811 FAX)050-3153-2056 ホームページ https://jarwa.or.jp/

JARWAのBCHR紹介ページは⇒こちら